

平成25年度 堺市障害者自立支援協議会 第1回 障害当事者部会 議事概要

日時	平成25年4月24日（水） 14:00～16:00
場所	市役所本館 地下1階 大会議室（西側）
出席者 （敬称略）	茅原、白石、厩田、野崎、佐野、松本、丸野、梅田、谷口、前田、吉村
欠席者 （敬称略）	岸本、高木、三田
支援者	ボランティア1名
事務局	八木、大塚、西岡
事務局補助	【総合相談情報センター】黒木、上田
傍聴	なし

● 事務局からの連絡事項

【事務局・事務局補助の担当者変更】

- ・人事異動等に伴い、事務局（障害施策推進課）については、企画調整係の八木、大塚、相談支援係（今年度から新設）の西岡の3名で担当することとなった。また、事務局補助（総合相談情報センター）については、田淵、上田の2名で担当することとなった。

【市役所の駐車場の取扱変更】

- ・市役所の駐車場について、以前は、駐車場の係員に障害者手帳を提示していただく形で無料の処理を行ってきたが、駐車場の無人化に伴い、今年度から訪問先の部署で障害者手帳を確認させていただいた上で無料券を発行する形に変更となった。
- ・当部会への出席のため市役所の駐車場を利用された場合は、事務局へその旨お伝えいただければ、無料券をお渡しさせていただきます。

● 平成24年度まとめ（案）について（最終確認）

- ・部会長から資料に沿って説明。
⇒案のとおり承認。

● 今年度の活動内容について

【当事者交流会】

- ・交流会については、今年度も実施する方向で決定。
- ・昨年度は「グループホーム事業者研修」に利用者の声を反映させるため、グループホーム利用者を対象とした交流会としたが、今年度は広く障害当事者の声を聞く形としてはどうか。
- ・100人規模の会場（例：福社会館の大研修室、健康福祉プラザの大研修室、市民会館の小集会室等）を早めに確保すべき。
- ・グループに分けて話し合う場合、他のグループの声がじゃまにならないよう、部屋を分けることは

できないか。

- ・日程については、就労している人も参加しやすいよう平日は避けることとし、昨年度と同様、10月～11月の土日又は祝日かどうか。
⇒その場で福社会館に空き状況を問合せた上で検討した結果、11/2（土）の午後、福社会館5階大研修室での利用申込を行うこととした。
- ・テーマ設定や対象範囲等については、次回以降の部会で検討。

【駅のバリアフリー情報の発信】

- ・市内の各駅におけるエレベータや身体障害者用トイレの設置状況、無人駅かどうかといった情報について地図上に示し、市又は自立支援協議会のホームページで発信してはどうか。
⇒インターネット上には便利なサイトが既にある。当部会のブログにリンクを貼ってはどうか。

【災害】

- ・大規模な災害の場合、状況によっては自分で避難所まで行くことが難しいことも考えられる。近隣の住民同士で助け合うためには、どんな支援が必要な障害者がどこにいるかといった情報が必要。
- ・災害が起きた後、市職員がそれぞれの持ち場（避難所や区役所等）に集合し、市としての組織的な動きがとれる体制が整うまでには、かなりの時間がかかると考えられる。発生から避難までの安全をどのように確保するかについては、行政というよりもむしろ、個人や地域レベルでの取り組みが重要となる。
- ・防災訓練も重要では。
⇒地域で実施されてはいるが、現実的な問題として、本気でやっている人がどれだけいるのかは疑問。あまり真剣に考えていない人も多いのでは。
- ・堺市における要援護者リストの作成状況は？
⇒【事務局から】障害者手帳等の情報をもとにしたリストを地域に提供するためには、本人の同意が必要であるため、現在、エリアごとに順次、同意を確認していく作業を行っているところである。

【地域活動支援センターとの交流会】

- ・「余暇」を楽しむ上でも重要な社会資源である「地域活動支援センター」と交流の機会を設けてはどうか。

【市長との懇談】

- ・市長との懇談を企画する場合、そのルールや手続きは？
⇒【事務局から】担当の部署に確認し、次回の部会でその結果を報告させていただく。

● **ブログについて**

- ・ブログの画面をプロジェクターで映し、確認。
- ・堺市障害者自立支援協議会のホームページからのリンクについては既に設定済みであるが、今のところ、トップページからまずは「市協議会の紹介」又は「関連リンク集」をクリックし、次のページにある「障害当事者部会」をクリックすることでブログが表示される形となっている。今後は、トップページにも「障害当事者部会のブログ」専用のボタンをつくり、1回のクリックでブログが表示されるように改善していく。

● その他情報交換、報告

- ・委員から、「見えない障害バッジ」について情報提供。民間の団体が独自につくっているもので、例えば、内部障害のある人がこのバッジを付け、電車の優先座席に座っていても、周囲の人がバッジの趣旨を知らなければ意味がないため、多くの人に広めていきたい。
⇒当部会のブログにもバッジの写真を掲載してはどうか。
- ・南海電鉄の駅の無人化については、今年4月から新たに12駅が無人化され、従来から無人駅であった21駅と合わせ、33駅が無人駅となった。このうち、堺市内では4月から「浅香山」、「百舌鳥八幡」、「湊」の3駅が無人駅となり、昨年10月から既に無人駅となっている「萩原天神」を含め、堺市内の無人駅の数は現在、4駅となっている。また、このほかにも時間帯によっては無人となる駅もある。無人駅では、例えば車いす利用者が乗り降りする場合、他の駅の駅員に来てもらう必要があるため、事前に連絡しておくか、駅にあるインターホンで連絡しなければならない。
⇒車いす利用者が駅のインターホンを押してから電車に乗るまでの待ち時間について、あるテレビ番組で行われていた実験では30分であった。
⇒インターホンがあってもボタンを押すことができない人もいる。
⇒「インターホンまでの点字ブロックが設置されていなかった」という話もある。

● 次回 障害当事者部会

- ・5月22日（水）14：00～16：00 堺市総合福祉会館 5階 第2研修室